

受付番号： 2017-1-825

課題名：炎症性腸疾患合併患者に対する放射線治療の急性期、晩期有害事象の
後ろ向き研究

1. 研究の対象

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病）に罹患している方で1997年1月1日から
2017年12月31日までに東北大学病院で放射線治療を受けた方

2. 研究期間

研究期間は2018年1月～2021年1月です。

3. 研究目的

本研究では炎症性腸疾患合併患者に対する放射線治療の安全性を、治療前後の炎症性腸疾
患の活動性や急性期・晩期有害事象を評価することにより検討します。

これにより、炎症性腸疾患を合併した患者さんの「がん」への治療選択肢が増えることが期待され
ます。

4. 研究方法

1997年1月1日から2017年12月31日までに東北大学病院で放射線治療を受けた方の診療録
の情報を用いて後ろ向きに解析します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、IBD診断時年齢、IBD治療歴、IBD活動性、悪性腫瘍診断名、ステージ、放射線総
線量(Gy)、1回線量(Gy)、照射範囲、有害事象、悪性腫瘍に対する併用療法などを調査します。
RT前後のIBD活動性は潰瘍性大腸炎はMayo Score、クローン病はIOIBD Scoreを診療録に含ま
れる臨床調査個人票を用いて算出し、客観性を可能な限り担保します。

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし。

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

東北大学大学院 医学系研究科 放射線腫瘍学講座 教授 神宮啓一
内線：7312
e-mail：kjingurad@yahoo.co.jp

研究事務局：

東北大学大学院 医学系研究科 放射線腫瘍学講座 大学院生 鈴木友
内線：7312
e-mail：rsb09592@gmail.com

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口と

なります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合